

【広報部】広報部長 小笠原 優

広報部長を拝命しました18区の小笠原です。これまでの編集実務の経験を生かし、広報誌制作のお役に立ちたく思います。何よりも重要なのは、読者であるあさひが丘団地のみなさまに「読んでもらえる広報誌」であることです。

そのために今号において、皆様の目を引く誌面作りを心掛けました。

文字を大きくして読みやすくしたのもうですし、これまでの2色刷りの赤色を緑にしたのも、そして創刊60号を記念して誌上座談会を企画したのもすべて、読者のみなさまに「何か変わったな！」と感じていただきたいと思ったからでした。

座談会のテーマ起こしには予想以上の手間が掛かり慌てましたが、広報スタッフ4名が一致団結して乗り切りました。記念すべき60号はいかがでしたでしょうか？

編集に携わった私たち広報の努力が報われたなら、これ以上の喜びはありません。

あさひが丘連合自治会

第60号（令和元年7月発行）

(1)

特別企画 誌上座談会



第60号記念誌
令和元年7月発行
連合自治会広報部

あさひが丘連合自治会の創設、あさひが丘が創刊60周年を迎えたことを記念して、誌上座談会を開催しました。賀茂の連合自治会長の金持義明さんと近藤義明さんを招き、尾田連合自治会長を交えて、「第一部あさひが丘団地の将来展望」と「第二部あさひが丘の朝刊紙について語ります」。

第一部 「あさひが丘団地の将来展望」

「広報担当本日はお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。まず、第一部の「あさひが丘団地の将来展望についてですが、少子高齢化が大きな社会問題となっていますね。私たちの住む「あさひが丘」も例外ではないと思われますが、この問題についてどうお考えですか？」

世代交替がキーポイント

「近藤さん そうですね。30年前に25歳から35歳の若さで入居した人たちが10年経つと高齢者なんですね。あさひが丘の団地ができた当頃、各地区のおもしろい行事をあさひが丘へもどしおこなっていましたが、この間に何が起こりましたか？」



元連合自治会長の近藤義明さん

「金持さん 団地における年齢差、特に高齢問題の対処をやっておかなといいけませんね。少子化の中で子どもたちをいかに育していくか、先日川崎市で起きた児童の殺傷事件は、他人事ではありません。時間取られる人には、あの前と自身などを見て見守りをしていただけたらと思いますね。あさひが丘には、65歳以上の高齢者が2000人近くおられる空き家対策などを見極め、みんなで専門性を出

ます、それをどう乗り越えればいいとお考えですか？」

（金持さん） 2012年に千葉新聞の連合自治会を呼んで、社会問題とか老々介護とか「ヨミニニティ」の衰退と勢い、高齢化、祭りがそうですが、今は高齢化対策が深刻な問題となりました。

（近藤さん） 「向こう三軒隣」という言葉もありますが、朝方ベランダにドアを開けたり、窓を開けたりしてオルモ干したり、窓を開けたりして今日も元気ですとかという顔ぶれが生きる方が多いですね。まさに行政にお願いしたい「例を挙げると、防水紙の際時のような防震構造は、心臓の活動の変化や、身体の動きの時間停止等があつた場合、管理組合部門や、相談員が自動的に知らせるシステムの開拓を願いたいと思います。

（尾田さん） 配達時に郵便物や新聞が溜まっていたら連合自治会に通報してもう、協定書を、郵便局をして新規開設所と結んでいます。併せて、参加者同士の仲を深め、作りしなければなりません。

（金持さん） そうした取り組みが地域活性化につながります。

（近藤さん） 地域が完成してすぐに人口が約半分、5年内にほんとうに統一しました。40年後、45年後の少子高齢化は当初から予想されたことでし

連合自治会に出て来る元号・西暦対照表	
昭和 18年	1973年
昭和 30年	1976年
昭和 51年	1976年
昭和 62年	1987年
昭和 64年	1990年
昭和 66年	1993年
昭和 68年	1995年
昭和 70年	1997年
昭和 72年	1999年
昭和 74年	2001年
昭和 76年	2003年
昭和 78年	2005年
昭和 80年	2007年
昭和 82年	2009年
昭和 84年	2011年
昭和 86年	2013年
昭和 88年	2015年
昭和 90年	2017年
昭和 92年	2019年
昭和 94年	2021年
昭和 96年	2023年
昭和 98年	2025年
昭和 100年	2027年
昭和 102年	2029年
昭和 104年	2031年
昭和 106年	2033年
昭和 108年	2035年
昭和 110年	2037年
昭和 112年	2039年
昭和 114年	2041年
昭和 116年	2043年
昭和 118年	2045年
昭和 120年	2047年
昭和 122年	2049年
昭和 124年	2051年
昭和 126年	2053年
昭和 128年	2055年
昭和 130年	2057年
昭和 132年	2059年
昭和 134年	2061年
昭和 136年	2063年
昭和 138年	2065年
昭和 140年	2067年
昭和 142年	2069年
昭和 144年	2071年
昭和 146年	2073年
昭和 148年	2075年
昭和 150年	2077年
昭和 152年	2079年
昭和 154年	2081年
昭和 156年	2083年
昭和 158年	2085年
昭和 160年	2087年
昭和 162年	2089年
昭和 164年	2091年
昭和 166年	2093年
昭和 168年	2095年
昭和 170年	2097年
昭和 172年	2099年
昭和 174年	2101年
昭和 176年	2103年
昭和 178年	2105年
昭和 180年	2107年
昭和 182年	2109年
昭和 184年	2111年
昭和 186年	2113年
昭和 188年	2115年
昭和 190年	2117年
昭和 192年	2119年
昭和 194年	2121年
昭和 196年	2123年
昭和 198年	2125年
昭和 200年	2127年
昭和 202年	2129年
昭和 204年	2131年
昭和 206年	2133年
昭和 208年	2135年
昭和 210年	2137年
昭和 212年	2139年
昭和 214年	2141年
昭和 216年	2143年
昭和 218年	2145年
昭和 220年	2147年
昭和 222年	2149年
昭和 224年	2151年
昭和 226年	2153年
昭和 228年	2155年
昭和 230年	2157年
昭和 232年	2159年
昭和 234年	2161年
昭和 236年	2163年
昭和 238年	2165年
昭和 240年	2167年
昭和 242年	2169年
昭和 244年	2171年
昭和 246年	2173年
昭和 248年	2175年
昭和 250年	2177年
昭和 252年	2179年
昭和 254年	2181年
昭和 256年	2183年
昭和 258年	2185年
昭和 260年	2187年
昭和 262年	2189年
昭和 264年	2191年
昭和 266年	2193年
昭和 268年	2195年
昭和 270年	2197年
昭和 272年	2199年
昭和 274年	2201年
昭和 276年	2203年
昭和 278年	2205年
昭和 280年	2207年
昭和 282年	2209年
昭和 284年	2211年
昭和 286年	2213年
昭和 288年	2215年
昭和 290年	2217年
昭和 292年	2219年
昭和 294年	2221年
昭和 296年	2223年
昭和 298年	2225年
昭和 300年	2227年
昭和 302年	2229年
昭和 304年	2231年
昭和 306年	2233年
昭和 308年	2235年
昭和 310年	2237年
昭和 312年	2239年
昭和 314年	2241年
昭和 316年	2243年
昭和 318年	2245年
昭和 320年	2247年
昭和 322年	2249年
昭和 324年	2251年
昭和 326年	2253年
昭和 328年	2255年
昭和 330年	2257年
昭和 332年	2259年
昭和 334年	2261年
昭和 336年	2263年
昭和 338年	2265年
昭和 340年	2267年
昭和 342年	2269年
昭和 344年	2271年
昭和 346年	2273年
昭和 348年	2275年
昭和 350年	2277年
昭和 352年	2279年
昭和 354年	2281年
昭和 356年	2283年
昭和 358年	2285年
昭和 360年	2287年
昭和 362年	2289年
昭和 364年	2291年
昭和 366年	2293年
昭和 368年	2295年
昭和 370年	2297年
昭和 372年	2299年
昭和 374年	2301年
昭和 376年	2303年
昭和 378年	2305年
昭和 380年	2307年
昭和 382年	2309年
昭和 384年	2311年
昭和 386年	2313年
昭和 388年	2315年
昭和 390年	2317年
昭和 392年	2319年
昭和 394年	2321年
昭和 396年	2323年
昭和 398年	2325年
昭和 400年	2327年
昭和 402年	2329年
昭和 404年	2331年
昭和 406年	2333年
昭和 408年	2335年
昭和 410年	2337年
昭和 412年	2339年
昭和 414年	2341年
昭和 416年	2343年
昭和 418年	2345年
昭和 420年	2347年
昭和 422年	2349年
昭和 424年	2351年
昭和 426年	2353年
昭和 428年	2355年
昭和 430年	2357年
昭和 432年	2359年
昭和 434年	2361年
昭和 436年	2363年
昭和 438年	2365年
昭和 440年	2367年
昭和 442年	2369年
昭和 444年	2371年
昭和 446年	2373年
昭和 448年	2375年
昭和 450年	2377年
昭和 452年	2379年
昭和 454年	2381年
昭和 456年	2383年
昭和 458年	2385年
昭和 460年	2387年
昭和 462年	2389年
昭和 464年	2391年
昭和 466年	2393年
昭和 468年	2395年
昭和 470年	2397年
昭和 472年	2399年
昭和 474年	2401年
昭和 476年	2403年
昭和 478年	2405年
昭和 480年	2407年
昭和 482年	2409年
昭和 484年	2411年
昭和 486年	2413年
昭和 488年	2415年
昭和 490年	2417年
昭和 492年	2419年
昭和 494年	2421年
昭和 496年	2423年
昭和 498年	2425年
昭和 500年	2427年
昭和 502年	2429年
昭和 504年	2431年
昭和 506年	2433年
昭和 508年	2435年
昭和 510年	2437年
昭和 512年	2439年
昭和 514年	2441年
昭和 516年	2443年
昭和 518年	2445年
昭和 520年	2447年
昭和 522年	2449年
昭和 524年	2451年
昭和 526年	2453年
昭和 528年	2455年
昭和 530年	2457年
昭和 532年	2459年
昭和 534年	2461年
昭和 536年	2463年
昭和 538年	2465年
昭和 540年	2467年
昭和 542年	2469年
昭和 544年	2471年
昭和 546年	2473年
昭和 548年	2475年
昭和 550年	2477年
昭和 552年	2479年
昭和 554年	2481年
昭和 556年	2483年
昭和 558年	2485年
昭和 560年	2487年
昭和 562年	2489年
昭和 564年	2491年
昭和 566年	2493年
昭和 568年	2495年
昭和 570年	2497年
昭和 572年	2499年
昭和 574年	2501年
昭和 576年	2503年
昭和 578年	2505年
昭和 580年	2507年
昭和 582年	2509年
昭和 584年	2511年
昭和 586年	2513年
昭和 588年	2515年
昭和 590年	2517年
昭和 592年	2519年
昭和 594年	2521年
昭和 596年	2523年
昭和 598年	2525年
昭和 600年	2527年
昭和 602年	2529年
昭和 604年	2531年
昭和 606年	2533年
昭和 608年	2535年
昭和 610年	2537年
昭和 612年	2539年
昭和 614年	2541年
昭和 616年	2543年
昭和 618年	2545年
昭和 620年	2547年
昭和 622年	2549年
昭和 624年	2551年
昭和 626年	2553年
昭和 628年	2555年
昭和 630年	2557年
昭和 632年	2559年
昭和 634年	2561年
昭和 636年	2563年
昭和 638年	2565年
昭和 640年	2567年
昭和 642年	2569年
昭和 644年	2571年
昭和 646年	2573年
昭和 648年	2575年
昭和 650年	2577年
昭和 652年	2579年
昭和 654年	2581年
昭和 656年	2583年
昭和 658年	2585年
昭和 660年	2587年
昭和 662年	2589年
昭和 664年	2591年
昭和 666年	2593年
昭和 668年	2595年
昭和 670年	2597年
昭和 672年	2599年
昭和 674年	2601年
昭和 676年	2603年
昭和 678年	2605年
昭和 680年	2607年
昭和 682年	2609年
昭和 684年	2611年
昭和 686年	2613年
昭和 688年	2615年
昭和 690年	2617年
昭和 692年	2619年
昭和 694年	2621年
昭和 696年	2623年
昭和 698年	2625年
昭和 700年	2627年
昭和 702年	2629年
昭和 704年	2631年
昭和 706年	2633年
昭和 708年	2635年
昭和 710年	2637年
昭和 712年	2639年
昭和 714年	2641年
昭和 716年	2643年
昭和 718年	2645年
昭和 720年	2647年
昭和 722年	2649年
昭和 724年	2651年
昭和 726年	2653年
昭和 728年	2655年
昭和 730年	2657年
昭和 732年	2659年
昭和 734年	2661年
昭和 736年	2663年
昭和 738年	2665年
昭和 740年	

（広報担当）ところで「あさひが丘」が団地として誕生した当時の様子について教えていただけますか。

都市機能併せ持つ

「農住団地」

（金持さん）私はこの団地へ昭和54年に入居しましたが、第一号の入居者が

あつたのが昭和50年の12月です。コーアセシターでは翌年6月に初めての入居者の集いが開催され、自治会作り

が協議されたそうです。2ヵ月後の8月には第1回あさひが丘納涼大会があつたと聞いています。

（尾田さん）自然との調和のとれた都

市づくり「農村住宅団地建設基本計画」に基づいて安佐町農協が着手し、農住都市コーブタウン「あさひが丘」が誕生しました。

（金持さん）私は99番目に入居しましたが、「あさひが丘」の団地は敷地が広く、石垣もきれいで、それに動物園もあつて子どもたちが喜んでいましたね。

（尾田さん）恵まれた自然環境と、都市機能を併せ持つ新しい生活空間「農住

団地あさひが丘」が完成したわけですね。

（広報担当）「あさひが丘」ができる当時は、希望に満ちた明るい団地として注目を浴びたというわけですね。

（尾田さん）「あさひが丘」は、昭和48年12月に起工式が行われ、昭和51年



現連合自治会長の尾田豊機さん

（尾田さん）6区の見晴らし台から見る朝日はとてもきれいです。（広報担当）希望に満ちていた「あさひが丘」が、少し高齢化の荒波に直面しています。

深刻な「空き家問題」

（尾田さん）日浦小学校は、1学年2クラスだったのが近々1クラスになる

危機に直面しています。今年入学したのはギリギリ2クラス。そこまで追い

詰められています。一方で独り暮らし

の高齢者が激増しました。

（広報担当）連日自殺がまとめた「年

齢別一覧表」を見ますと、平成30年12月末現在の全人口が65558人。そのうち65歳以上が2824人で高齢化率43%という驚くべき数値が示され

てあります。

（尾田さん）高齢化率については広島市全体で25%、安佐北区が32%。これ

に比べて「あさひが丘」は43%です。4年前と比較すると全人口が400人減り、65歳以上の高齢者が増えました。

（金持さん）当時は子どもが大勢いて

夢がありましたね。

（尾田さん）団地の人口のピーカが平成4年の8898人。その後、平成16年までは8千人台を維持していました。

（広報担当）「あさひが丘」ができる当時は、希望に満ちた明るい団地として注目を浴びたというわけですね。

（金持さん）当時は旧安佐郡日浦村でした。安佐郡の「あさ」と日浦村の「ひから」、朝日が昇る住宅団地「コ」ブタウン「あさひが丘」と命名されたと聞いています。

（尾田さん）「あさひが丘」では、家をリフォームする若い子育て世代の入居が増えています。問題なのは「人は住んでいないが家財が残る空き家」が非常に多いこと。これが解決すれば、代替わりができます。

連合自治会では、このような「家財が残る空き家」をなくすために、まちに適したのが近々1クラスになる

起こし推進部の事業として、空き家対策に取り組んでいます。こんな空き家が「あさひが丘」に100軒はあります。

（金持さん）将来子ともが帰るのか、帰らないのか、親が元気なうちに子とも話しておこうことが大事ですね。生前に子どもに言つておけば、子どもが処分しやすいんです。こうすれば団地の空き家が少なくなる。

（尾田さん）もうひとつは、空き家をリフォームする人がどの程度いるのか。「あさひが丘」で空き家になりそうなのは昭和50年代に建てた家です。団地内の8割がそうです。2階は2間でトイレがありません。今の若いファミリーにはそんな間取りは魅力がない。古い家を購入してお金を掛けてリフォームするよりも、家を壊して更地にするほうが多いのです。更地にすれば若い世代が入つて来る。統計的に5年くらい前から見ても増えています。これからは独り暮らしの高齢者と「子どもがしつかり相談することが大事ですね」

(広報担当)「住宅団地の活性化に関する意識調査」が以前行われましたね。いろんな項目について住民のみなさんから多くの意見が寄せられたと思います。「あさひが丘」が抱える問題点が、どのようにあぶり出されたのでしょう?

高齢者の 移動手段が課題

(尾田さん) 6年前にアンケートをし、「将来の不安は?」という質問に、「車の運転ができなくなつたときの移動が挙げられました。運転免許の返納は、現在大きな社会問題ですね。それから、自分と家族の健康状態、路線バスの縮小・廃止について、今年4月からウーバークーティーのバスが導入されました。商業施設の撤退もありました。これらが一番大きな不安材料です。

第二部 広報誌「あさひが丘」創刊秘話

(近藤さん)「住民のみなさん」「あさひが丘」の中のいろんな行事、特に自治会がやっている行事を芦屋する必要がありましたね。みんなに知つてもらうと同時に、やっぱり記録に残そうと、「私が研究会の時、第一回を出したんです。」

(金持さん)「それより前は、どうでしたかね?」

(近藤さん)「ページものの印刷物を

加えて、現在、住宅に住る親ぐ人がいない家族が64%もいる。アンケートをした6年前の不安が現実のものとなりました。

高齢者の移動手段を考えなければなりません。今、免許返納者へのフリーバス発行の交渉を、店電バスとしているところです。

(広報担当)持ったなしの厳しい状況に直面していることが分かりました。

みなさんから伺つたお話によつて、希望に満ちた将来展望に繋がることを期待したいと思います。

これまでのお話の流れのなかで、連合自治会の広報誌「あさひが丘」が創刊されることになります。ここからは「第二部 広報誌「あさひが丘」の創刊秘話」を語つていただきたいのですが、御用意時の苦労談を「披露」いただけますか?

きたのですね。さて今回60号を迎えます。これまでの号で思い出に残る記事はありますか?

(金持さん)「平成14年度を振り返つて」という第2号を発行しました。私は当時、連合自治会の会長でしたが、平成15年の4月に、「あさひが丘」の汚水処理場を広島市へ移管しました。その時のことは、第2号で述べております。

また、安佐町農協が広島市農協と合併した際に、安佐町農協が所有している自販機やごみ置き場等、それに法

面があさひが丘団地管理組合へ無償譲渡されました。

これらのことが、今では一番印象に残つております。

(広報担当)最後に、広報誌「あさひが丘」は、「これからどんな「使命」を果して行くと思われますか。」「これから広報誌に期付するもの」という点でいかがでしょう。

(近藤さん)広報誌に若い住民の声を載せて、そうした若い人の育ちをみなさん理解してもらう、ということが大切ですね。それから歴史として、この団地に起つたことを記録していく。これが広報誌の役目だと思います。



元連合自治会長の金持忠彦さん

広報誌を通じて情報共有

(尾田さん)「あさひが丘団地」の情報

それから問題点、そういうものを広報誌を通して住民同士が共有し、それがコミュニケーション活動に繋がればいい、というのが私の願いですね。

(金持さん)私も同感です。あさひが丘」の情報を広報誌を媒介にして共有いたぐ、それが一番じゃないでしょうか。

(近藤さん)広報誌に若い住民の声を載せて、そうした若い人の育ちをみなさん理解してもらう、ということが大切ですね。それから歴史として、この団地に起つたことを記録していく。これが広報誌の役目だと思います。

(広報担当)私たち広報部員も、個別当時の熱意を常に念頭に置き、「あさひが丘団地」の更なる発展に貢献する広報作りに励みたいと思います。

今日はお忙しいところ、大変貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



今年度の抱負を語る

広報誌「あさひが丘」の創刊60号を記念して、尾田連合自治会長と部長のみなさまに「今年度の抱負」を語つていただきました。

安心・安全な暮らし口指して

連合自治会長 鹿田 豊樹

あさひが丘連合自治会員の皆様にはますます健勝のことをお喜び申しあげます。平素はあさひが丘連合自治会の行事や活動にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度のあさひが丘連合自治会事は、クリーンキャンペーンを2回(6月、11月)、納涼大会(8月)、大運動会(10月)、秋祭り(10月)、音楽祭(12月)などを予定しています。

あさひが丘団地内のニュース、情報問題点などを掲載する「広報誌あさひが丘」は、平成元年に第1号を発刊して以来、節目の第60号となり、記念号をお届けすることになりました。これもひとえに団地住民の皆様のご協力と歴代自治会関係者のご尽力のたまものと感謝申し上げます。

6年前、団地活性化のアンケート調査を行いました。車が運転できなくなつた時の移動、同居家族の減少、路線バスの減便、少子高齢化など問題が山積みしています。

このアンケートの中の「あなたの住

宅に住み続ける方がおられますか」という設問に対し、54%の方が「住み続ける人がいない」と回答されました。現在あさひが丘団地には、家財があるままでの人の住んでいない空き家が急増しています。

将来このような空き家を増やさないために、あさひが丘連合自治会では店舗の支援を受けて、昨年度から空き家対策に取り組んでいます。子どもづくりの専門家を招いて、子ども達に迷惑をかけないため、空き家になる前に、空き家になつた時の家財整理の仕方、考え方などを学ぶ講習会や相談会を開催しました。

将来この「住み続ける人がいない」という半数以上の住宅に、子育て世代のファミリーを呼び込むためにも、「元気な時に何をすべきか」と問題点を共有し、今年度も専門家を招いて空き家対策に取り組んでまいります。

昨年7月の西日本豪雨では、土砂災害などの甚大な被害が発生し、広島県内では100人以上の方がお亡くなられになりました。この災害では避難の遅れが指摘されています。

各区の自治会では、実際にまち歩き

をして、危険な場所、一時避難場所、緊急指定避難場所などを記載した防災マップが完成しました。一部の区を除いて各戸に配布させていただきまして、家庭内で緊急持ち出し品を揃え、避難場所への安全ルートを語り合っておりました。

沼山の方々のご来場などご参加を心よりお待ちしております。

自治会長を引き受け

生活環境部長 西田 利子

10月27日には、防災マップを活用した各区独自の防災訓練を予定しています。

団地内の皆様が安心・安全な暮らしのできるまちづくり、子育て世代の方々に移り住んでいただけのまちづくりに取り組んでまいります。

納涼大会を親睦の場に

事業部長 山縣裕一

この度、事業部長の大役を仰せつかりましたが、皆様のお力を借りなければ、8月の納涼大会や10月の秋祭りなどやり遂げることができないと思っています。

この度、自治会の会長をお受けし、連合自治会の生活環境部長の任をいたしました。各区の会長様が子どもたちの同級生の保護者の方たり、共に役員をした方たりで、懐かしさを覚えるとともに、地域の方々のお世話をさせていただきました。年代になつたのだとつづく思いました。

今年の納涼大会は、8月3日の土曜日に予定しておりますが、その前準備として7月の後半に納涼踊りの練習を行う予定です。多数のご参加をお待ちしております。

昨年の納涼大会は、多くの子どもたちが浴衣を着て参加され、大変盛況

ました。今年も多くの方に参加いただけ、住民の皆様との交流と親睦の場となるよう、また子どもたちの思い出のひとつに残るよう、準備を進めて参りました。

沼山の方々のご来場などご参加を心よりお待ちしております。

自治会長を引き受け

生活環境部長 西田 利子

平成の始まりが私のあさひが丘団地での生活の始まりでした。この間3人の娘が幼稚園、小学校、中学校へ通い地域の中で育てていただきました。恩恵の「もりで、PTAや学区なども会なごの役員に携わらせていただき、子どもが卒業して10年が経とうとしています。

この度、自治会の会長をお受けし、連合自治会の生活環境部長の任をいたしました。各区の会長様が子どもたちの同級生の保護者の方たり、共に役員をした方たりで、懐かしさを覚えるとともに、地域の方々のお世話をさせていただきました。年代になつたのだとつづく思いました。

ふだん何気ないゴミ捨て、月1回の公園の掃除についても、役員になられた方が陰で動いておられるのだと分かりました。

クリーンキャンペーンにおきましても生活環境部担当の皆様、運営の

会の役員の皆様に大変お世話になりました。当日所用で欠席しましたが、沢山の方が参加してくださったと伺いました。ありがとうございます。

何事も始まつたばかりで分からないことが多い、皆様にはご迷惑をおかけすることになると思いますが、この1年どうぞよろしくお願ひいたします。

多世代循環型まちづくり

まちづくり推進部長 佐々木 雅

まちづくり推進部は「あらゆる世代がくらしの豊かさを実感し支え合い、安心していつまでも住み続けたくなる多世代循環型のまちづくり」を目指して活動しています。

空き家問題の解決に向けての取り組みは、安佐北区役所とも連携して進めていきます。

バスの利用促進については、今年度からバスが減便になるなど、すでに利用者の減少による影響が出ています。関係団体と連携して、バス利用促進の取り組みを一層進めることの必要性を感じています。

取り組みの大きな柱の「まちづくりボランティア人財バンク」について、昨年度はホームページのリユースアルオープン、音楽祭の開催、お助け隊の発足、ひうら山歩きの会や後山協和会の有志と連携して荒谷林道を

ウォーキングコースとして整備する活動や、野登呂山登山道整備等の取り組み、法面の草刈りの支援などを通じることができます。

今年度も引き続き「まちづくりボランティア人財バンク」に登録していましたが、多くの方を募集しています。

応募用紙は連合自治会事務局か、あさひが丘連合自治会のホームページ「まちづくり推進部」の部屋から入手できます。

運動会を盛り上げよう

体育部員 中村 錠

あさひが丘へ移り住んで30数年、当時は種々大な運動会をされていて感心したものでした。わが自治会は戸数も少なくこの数年は参加しておりませんが、多くの方々の期待はいかばかりかと思います。

さてこのたび体育部長を引き受けることとなりました。年々、高齢化が進む中で少しでも運動会を盛り上げようと、先輩の方々が創意工夫をしてこのれたことに少しでも手づけるよう、役員や同僚の方々の協力を得ながら努めています。

いまや「伝統の運動会」になりそうな気配ですが、多くの方々の参加なしでは成り立ちません。

こそつて盛り上げてくださるようお願いいたします。

連合自治会事務局からのお知らせ

学区集会所その他各施設のご利用について

連合自治会事務局ご利用申し込みの受付けを行つてるのは次の4施設です。

1. 近畿公團石神井町利用料
2. 日浦学区集会所
3. あさひが丘自習室
4. J.A.コープビル3階大ホール

申込みの受け付けは月・火・水・金

曜日の午前10時から12時までです。
午後からの申込はや、電話での予約は
原則としてできません。通力をあさひし
ます。

午後からの申込はや、電話での予約は
原則としてできません。通力をあさひし
ます。

目を引く誌面作り

広報部長 小笠原 優

広報部長を拝命しました18区の小笠原です。これまでの編集実務の経験を生かし、広報誌制作のお役に立ちた

のもすべて、読者のみなさまに「何か変わったな」と感じていただき思つたからでした。

座談会のテーブル起こには予想以上

の手間が掛かりましたが、広報スタッフ4名が一致団結して乗り切

りました。

記念すべき60号はいかがでしたで

しょうか?

記念すべき60号はいかがでしたで
しょうか?

編集に携わった私たち広報の努力

が報われたなら、これ以上の喜びはあ

りません。

さひが丘団地のみなさまに「読んでもらえる広報誌」であることです。そのため今月において、みなさまの目を

引く誌面作りを心掛けました。

文字を大きくして読みやすくした
のもそです。これまでの2色刷り
の赤色を緑にしたのも、そして創刊60
号を記念して誌上座談会を企画した

広報誌発行

あさひが丘連合自治会 法務部
部長 小笠原 優

電話 838-12568
連合自治会事務局